

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(5月10日から5月16日回答分)

	症例数	手術		手術室で気管挿管	4	喉頭鏡	1
陽性	4	帝王切開	2	(喉頭展開1回で挿管)	(4)	McGRATH	3
		気管切開	1	区域麻酔	3		
		会陰部手術	1	既挿管	1		
				記載なし	1		
				SGA	0		
				PPE		フェイスシールド	5
COVID-19疑い患者	5	帝王切開	2			ゴーグル	2
		開腹手術	1			シールド付きマスク	2
		開頭手術	1			記載なし	0
		整形外科手術	1				
事前シミュレーション実施		あり	3			N95	9
		なし	6			PAPR	0
						サージカルマスク	0
						手袋2枚	6
						手袋1枚	2
						記載なし	1

自由記載

陽性	気管切開	カニューラ挿入時にエアロゾルが発生したと思われた。
----	------	---------------------------

疑い	整形外科手術	手術終了・抜管後の手術室待機時間が20分以上長かった。
	開腹手術	濃厚接触者が手術となり、N95マスク＋アイシールド付きサージカルマスク＋ゴーグル＋メガネ仕様を装着して対応した。
	帝王切開	疑い症例であったが、事前にマニュアル化していたように整形外科の関節手術の時に用いるヘルメットを術者だけでなく麻酔科医、小児科医や外回り看護師も装着しておこなった。陰圧かつ前室のある手術室を使用した。前室でルビスタで消毒してのち退室した。前室で着替えたり、物品の受け渡しをした。
	帝王切開	術中にPCRで陰性と確認された。
	開頭手術	緊急手術で空いている手術室がなく、ERで手術を施行した。